

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【公開番号】特開2014-131925(P2014-131925A)

【公開日】平成26年7月17日 (2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2013-176531(P2013-176531)

【国際特許分類】

B 6 5 D 25/52 (2006.01)

B 6 5 D 83/08 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 25/52 G

B 6 5 D 83/08 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月12日 (2016.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロール状のラップを保持する本体部と、該本体部を開閉可能に覆うカバー部と、該カバー部に設けられたスライド軸と、該スライド軸に沿って移動可能であって刃物を有するスライダーと、前記本体部において該本体部前面から前方に向けて設けられ下方に回転可能な跳ね上げ板と、該跳ね上げ板の下方において前記本体部前面に設けられたラップ受けとを有し、前記カバー部を閉じた状態で、前記スライダーは前記本体部から引き出されたラップを前記跳ね上げ板との間に挟んだ状態にあり、前記スライダーを前記スライド軸に沿って押し込んだ際、前記スライダーは前記本体部前面に略倣うように移動しながら前記跳ね上げ板を下方に回転させると共に、前記ラップ受けと交差し、ラップを引き出しながら前記刃物でラップを切断し、前記スライダーを開放した際には、該スライダーは元の位置に戻ると共に、前記跳ね上げ板は引き出されたラップを前記スライダーとの間に挟んだ状態で元の位置に戻るよう構成されていることを特徴とするラップホルダー。

【請求項 2】

ロール状のラップを保持する本体部と、該本体部を開閉可能に覆うカバー部と、該カバー部に設けられたスライド軸と、該スライド軸に沿って移動可能なスライダーと、前記本体部において該本体部前面から前方に向けて設けられ下方に回転可能な跳ね上げ板と、該跳ね上げ板の下方において前記本体部前面に設けられた刃物を有するラップ受けとを有し、前記カバー部を閉じた状態で、前記スライダーは前記本体部から引き出されたラップを前記跳ね上げ板との間に挟んだ状態にあり、前記スライダーを前記スライド軸に沿って押し込んだ際、前記スライダーは前記本体部前面に略倣うように移動しながら前記跳ね上げ板を下方に回転させると共に、前記ラップ受けと交差し、ラップを引き出しながら前記刃物でラップを切断し、前記スライダーを開放した際には、該スライダーは元の位置に戻ると共に、前記跳ね上げ板は引き出されたラップを前記スライダーとの間に挟んだ状態で元の位置に戻るよう構成されていることを特徴とするラップホルダー。

【請求項 3】

前記スライダーと前記ラップ受けとにおいて、両者は共に二本のレール状部材で構成され、前記刃物は前記二本のレール状部材のレール間に設けられていると共に、前記刃物を

設けた二本のレール状部材のレール間隔は他方の二本のレール状部材のレール間隔よりも広いことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 2 に記載のラップホルダー。

【請求項 4】

前記本体部と前記カバー部とにはそれぞれ両者を閉じた際両者を仮固定する手段が設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 に記載のラップホルダー。

【請求項 5】

前記本体部もしくは前記カバー部には、前記本体部に挿入されたロール状のラップを本体部の内面に向けて押しつけるバネ部材が設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 に記載のラップホルダー。

【請求項 6】

前記本体部には磁石や吸盤等の吸着部材が設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 に記載のラップホルダー。